

令和 4 年度

第 2 回 八代市社会教育委員会議

日時：令和 5 年 3 月 1 7 日（金）
1 5 時 3 0 分～1 6 時 3 0 分
場所：八代市役所本庁 3 階 3 0 2 会議室

次 第

1. 開 会
2. 教育長挨拶
3. 委員長挨拶
4. 議 事
 - （1）令和 4 年度生涯学習課の主な事業報告について
 - （2）令和 5 年度生涯学習課の主な事業計画について
 - （3）八代市地域学校協働活動の評価・検証について
 - （4）令和 5 年度八代市地域学校協働活動事業計画（案）について
 - （5）令和 5 年度熊本県社会教育研究大会・公民館大会について
5. その他
6. 閉 会

八代市社会教育委員名簿

	役 職	氏 名	団 体 等 名	出 欠
1		みやもと のりこ 宮本 典子	八代校長会小学校部会代表 (八代市立金剛小学校長)	出席
2		まつもと たくや 松本 卓也	八代校長会中学校部会代表 (八代市立東陽中学校長)	出席
3		いまだ ふみあき 今田 史昭	八代市PTA連絡協議会代表 (事務局)	出席
4	副委員長	みくりの えみ こ 三栗野 恵美子	八代市地域婦人会連絡協議会代表 (会長)	出席
5		たかくら ち さ こ 高倉 知佐子	NPO法人八代市体育協会代表 (副会長)	出席
6		てらお けいこ 寺尾 恵子	八代市民生委員児童委員協議会代表 (副会長)	出席
7	副委員長	とくだ たけはる 徳田 武治	八代地域代表(市民活動政策課推薦)	出席
8		なかだ まさはる 中田 正春	坂本地域代表(坂本支所推薦)	出席
9	委員長	すすきだ しんじ 薄田 眞治	千丁地域代表(千丁支所推薦)	出席
10		いきた ふみあき 生田 文明	鏡地域代表(鏡支所推薦)	出席
11		いわもと み え こ 岩本 美重子	東陽地域代表(東陽支所推薦)	出席
12		はしもと かずお 橋本 和郎	泉地域代表(泉支所推薦)	出席

任期: 令和3年8月1日～令和5年7月31日 委員定数16人以内

議 事

1. 令和4年度 事業報告について

(1) 人権教育事業

〔目 的〕

人権政策課や八代市人権問題啓発推進協議会をはじめとする関係機関・団体等と連携し、様々な人権課題についての学習機会を提供することで人権啓発とその推進を図る。また、社会教育分野における人権教育について地域住民への学習機会を提供する。

① 人権のまちづくり事業実績

・ 令和4年度推進校区

八代校区・金剛校区・日奈久校区を推進校区に指定し、まちづくり協議会と連携して、コミセンだよりへの啓発記事等掲載の提案、コミュニティセンターへの啓発ポスターの掲示を実施。

② 人権教育研修会

・ 令和4年度「八代市社会教育団体等人権教育研修会」

日時：令和4年12月16日（金）19：00～20：00

場所：八代市公民館 会議室AB

対象：八代市及び氷川町の社会教育団体（PTA・婦人会・子ども会）

教育委員会職員、人権同和教育・啓発関係機関

参加者数：65人

演題：『なかまをつくる部落に生まれて』

講師：森山 資典（もりやま まさのり）氏（熊本県人権教育研究協議会長）

③ 連携実績

・ 2022年度八代地区人権同和教育夏期現地研修会

期日：令和4年7月27・28日、8月1～3日の計5回開催

場所：西宮・上日置集会所 参加人数：325名（延べ数）

・ 第46回八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会

日時：令和4年7月30日（土）9：00～16：30

【全体会】：オンラインによる録画配信

【分科会、基礎講座A】：八代地域各会場

【基礎講座C】：オンラインによるライブ配信

・ 2022人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ

日時：令和4年12月3日（土）9：30～12：30

千丁コミュニティセンターよりネットによる視聴者限定のライブ配信

・ 2022（令和4）年度八代人権同和教育推進協議会「総括学習会」

日時：令和5年2月7日（火）9：30～16：00

場所：桜十字ホールやつしろ

（２）地域学校協働活動事業

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの育成を支えていく「地域学校協働活動」を推進するために、学校と地域とをつなぐ「地域学校協働活動推進員」（地域コーディネーター）を配置する。令和４年度においても、市内の全３９の小・中・特別支援学校に地域コーディネーターを配置し、様々な学校協力活動を実施した。

併せて、従来から実施している「地域未来塾」や「放課後子ども教室」についても地域の実情に合わせ継続して実施した。

〔取組の内容〕

授業（家庭科・ＧＴ招聘等）補助、登下校見守り、愛校活動・除菌活動支援、学校菜園活動補助、クラブ活動講師連絡、校外活動補助、放課後子ども教室、地域未来塾など

① 放課後子ども教室

〔目 的〕

放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

〔令和４年度実施校〕（令和４年１２月末現在）

○昭和小学校

参加児童数：１８人（１年生４人・２年生８人・３年生６人）

実 施 時 間：毎週月曜日１５時０５分～１６時００分

内 容：宿題サポート、おはなし会、ゲーム大会、ビンゴ大会、パズル遊び、工作教室、和太鼓体験、空手体験 など

令和４年度実績：２２日 参加者延べ２９１人

※３年生は月に１度（和太鼓）のみ。

○泉小学校

参加児童数：７人（１年生４人・２年生３人）

実 施 時 間：毎週火曜日及び金曜日の１５時３０分～１６時１０分

内 容：宿題サポート、塗り絵、折り紙、七夕飾り、レクリエーション、工作教室、手品鑑賞、体育館で遊ぼう など

令和４年度実績：３７日、参加者延べ２４２人

② 地域未来塾

〔目 的〕

経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に対して地域住民の協力による学習支援

を行う。また、別室登校生徒についての学習支援や居場所づくりに寄与する取組を実施することで不登校問題の解決に向けた一助とする。

〔令和4年度実施校〕（令和4年12月末現在）

延べ参加生徒 1, 523人

延べ実施回数 256回

○第一中学校

参加生徒：別室登校生徒

実施時間：毎週月曜日午前中 3時間程度

科目：英語、国語、相談見守

実績：実施回数20回、延べ133人

○第三中学校

参加生徒：別室登校生徒

実施時間：曜日の指定なし 午前中1時間30分程度

科目：英語、数学、相談見守

実績：実施回数66回、延べ152人

○第四中学校

参加生徒：1～3年生希望する生徒

実施時間：毎週水曜日の放課後 2時間程度

科目：英語、数学、理科、社会

実績：実施回数33回、延べ244人

○第六中学校

参加生徒：3年生希望する生徒

実施時間：曜日の指定なし 2時間程度

科目：英語、数学

実績：実施回数39回、延べ113人

○第八中学校

参加生徒：1～2年生希望する生徒

実施時間：夏休み期間中 3時間程度

科目：夏休みの課題

実績：実施回数20回、延べ140人

○日奈久中学校

参加生徒：1～3年生25人

実施時間：夏休み期間中 2時間程度

科目：夏休みの課題

実績：実施回数20回、延べ140人

○二見中学校

参加生徒：1～3年生11人

実施時間：毎週水曜日の放課後を基本 2時間程度

科目：英語、数学

実績：実施回数25回、延べ238人

○千丁中学校

参加生徒：1～3年生希望する生徒

実施時間：夏休み期間中 2時間程度

科目：夏休みの課題

実績：実施回数8回、延べ163人

○鏡中学校

参加生徒：別室登校生徒

実施時間：毎週火・木曜日の午前中を基本 2時間程度

科目：英語、数学、国語、相談見守

実績：実施回数48回、延べ208人

③ 不登校・別室登校対策

〔目的〕

本市の重要な教育課題の一つである不登校・別室登校問題について、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総掛かりで対応し、誰一人取り残すことのない教育環境の構築に資する。

〔令和4年度の実施内容〕

○地域未来塾（中学校）活用型

- ・内容…地域未来塾を活用し、校区に住む退職教員が別室登校生徒に対して個別に学習支援を実施。
- ・実施校…第一中学校、第三中学校、鏡中学校

○主任児童委員・教職員OB等地域人材との連携型

- ・内容…地域学校協働活動事業（報償費）を活用、若しくはボランティア人材を活用し、別室登校児童・生徒への学習支援や話し相手となる支援を実施。
- ・実施校…太田郷小学校、植柳小学校、松高小学校、千丁小学校、第一中学校、第二中学校、第六中学校

○地域における居場所づくり

- ・内容…学校外の施設を利用し、八代高校・八代中学校の生徒たちによる、外国にルーツを持つ児童や不登校児童への学習支援や話し相手となる交流を実施。（地域コーディネーター及び校区住民自治の青少年育成部会や学校と連携した取組）
- ・実施校…代陽小学校

④ 各種研修等

○教職員との意見交換会

日 時：令和4年8月22日（月）10時00分～11時45分

場 所：八代市公民館 会議室 AB

参加者：市内小中学校教職員 計32名

○熊本県地域の人づくり講座（熊本県社会教育課との共催）

・第1回

日 時：令和4年10月18日（火）14時30分～16時30分

場 所：八代市公民館 ホール

演 題：地域学校協働活動事例発表会

～他地域との交流を通して、学び、生かす！～

講 師：天草市地域学校協働推進員 統括コーディネーター 向 博俊 氏

発表者：蒲生 正人 氏（代陽小学校 地域コーディネーター）

今田 史昭 氏（松高小学校・支援学校 地域コーディネーター）

松岡 昭広 氏（鏡中学校 地域コーディネーター）

参加者：地域コーディネーター、市内小中学校教職員、主任児童委員、社会教育団体関係者等 計69名

・第2回

日 時：令和5年1月20日（金）10時00分～11時30分

場 所：八代市公民館 会議室 AB

演 題：新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座

～学ぼう！！私の活動を伝えるコツ～

講 師：熊本日日新聞 読者・新聞学習センター 今村 浩 氏

参加者：地域コーディネーター、社会教育団体関係者等 計19名

（3）二十歳の集い（成人式）

〔目 的〕

20歳という人生の節目を迎える若者たちを祝福、激励するとともに、改めて大人になった責任と義務を自覚し、郷土「八代」への愛着を深めるため開催する。

〔実施方法〕

実行委員会に二十歳の集いイベント等の企画と運営を委託。

〔対象者〕

平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの男女（外国人含）

1,057人（令和4年12月現在）

〔令和5年八代市二十歳の集い実績〕

開催日：令和5年1月8日（日）

会 場：八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）

式典参加者：522名

イベント：二十歳の主張、抽選会

（４）社会教育関係団体育成事業

〔目 的〕

社会教育団体の健全育成、活性化を促進し、生涯学習社会の構築を推進するため、社会教育関係団体の活動に対して助成等を行う。

〔令和４年度助成実施団体及び補助実績額（交付決定額）〕

- ・八代市地域婦人会連絡協議会 1,098,000円
- ・八代市子ども会連合会 240,000円
- ・八代市PTA連絡協議会 513,000円

（５）青少年体験活動事業

〔目 的〕

家庭や学校では、体験できない野外活動等を取り入れた青少年体験活動事業を実施し、次代を担う青少年の健全育成を図る。

〔令和４年度実績〕

① アウトドアスクール

対象者：市内在住の小学校４～６年生の児童

参加数：23人（児童18人、高校生ボランティア5人）

期 日：令和４年７月２７日（水）

場 所：豊野少年自然の家（宇城市豊野町）

内 容：スコアオリエンテーリング・創作活動（木箱の森）等

※当初は、２泊３日で予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、日程（日帰り）及び内容を変更し、実施した。

② 夏休み子ども陶芸教室

対象者：市内在住の小学校４～６年生の児童

参加数：19人

期 日：令和４年８月４日（木）

場 所：赤星公園 水竹居の館（鏡町宝出76-1）

内 容：皿・カップ作製

③ さかもと八竜天文台に泊まろう！～天体観測と体験活動～

対象者：市内在住の小学校４～６年生の児童

参加数：15人

期 日：令和４年１０月２９日（土）～３０日（日）

場 所：さかもと八竜天文台（坂本町中谷は335-2）

内 容：トレッキング（登山）・工作活動・天体観測・宿泊体験

④ 親子で楽しもう！里山体験

対象者：市内在住の小学校3～6年生の児童とその保護者

参加数：3組7人

期 日：令和4年11月19日（土）

場 所：坂より上公民館（東陽町河俣 3623）

内 容：竹細工体験・野外炊飯活動・登尾神社散策（雨天中止）等

※登尾神社散策は、雨天のため、中止とし、坂より上公民館で登尾神社にまつわる話と宝探しを実施した。

（6）社会教育施設管理運営事業

〔目 的〕

市民に学習・研修・スポーツ・趣味を楽しむ機会を提供する生涯学習のための施設として整備する。

○八代市さかもと青少年センター（坂本町中谷い 1270）

閉校となった旧小学校施設を活用し、自然豊かな環境の中で、青少年及び成人が団体宿泊等による共同生活体験や自然活動体験を通し、社会性豊かな感性を育み、規律、協同、友愛、互助の精神を養う。

・設 置 平成16年4月 ・敷地面積 8,764 m²

・延床面積 2,066 m²

〔利用状況の推移〕 ※令和4年度は1月末現在

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
269 件	3,873 人	442 件	6,399 人	380 件	4,358 人

○八代市社会教育センター（5施設）

学校統合により閉校となった旧小学校施設を活用し、自然豊かな環境の中で、少年の健全育成をはじめ社会教育に関する活動の推進を図る。

〔利用状況の推移〕 ※令和4年度は1月末現在

施設名	設置	敷地面積 床面積	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			件数	人数	件数	人数	件数	人数
深水社会教育センター （坂本町深水い 1471）	H16.4	6,357 m ² 1,709 m ²	233	1,713	172	1,120	122	688
鮎俣社会教育センター （坂本町鮎俣は 867）	H16.4	5,390 m ² 2,436 m ²	19	234	16	340	15	197
田上社会教育センター （坂本町田上 2006）	H16.4	17,571 m ² 2,212 m ²	24	344	27	438	52	491

久多良木社会教育センター (坂本町百済来 664)	H18.4	7,930 m ² 2,175 m ²	38	269	95	695	70	486
仁田尾社会教育センター (泉町仁田尾 96)	H23.4	2,836 m ² 464 m ²	14	150	44	397	72	806

○八代市二見自然の森（二見本町 3087）

恵まれた自然環境の中で安全で快適な憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用及び健康の増進を図る。

- ・設置 平成9年4月1日
- ・面積 20,852 m²

[利用状況の推移] ※令和4年度は1月末現在

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
0件	0人	0件	0人	0件	0人

○八代市八竜山自然公園（坂本町中谷は 335-2）

恵まれた自然環境と豊かな森林資源を保護しつつ、広域的な教育活動と森林レクリエーションの場を提供するとともに、青少年の健全育成を図る。

- ・設置 平成9年4月1日
- ・面積 22,729 m²

[利用状況の推移] ※令和4年度は1月末現在

施設名	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
さかもと八竜天文台	—	357人	—	377人	—	1,196人
ロッジ（6人用×3棟）	6件	29人	10件	40人	60件	246人
コテージ（10人用）	2件	17人	3件	24人	30件	230人

○八代市赤星公園（鏡町宝出 76-1）

市民の教育、学術、文化の向上及び市民相互の交流を図る。

- ・設置 平成15年4月1日
- ・面積 4,278 m²

[利用状況の推移] ※令和4年度は1月末現在

施設名	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
研修室	80件	722人	59件	732人	23件	1,166人
工 房	48件	337人	80件	427人	95件	429人
厨 房	0件	0人	4件	170人	9件	36人
屋 外	0件	0人	3件	145人	2件	300人

(7) 図書館管理運営事業

〔目 的〕

生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する自主事業等を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。

○利用実績（個人＋団体）

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
貸 出 冊 数	344,327 冊	354,991 冊	337,932 冊
貸出利用者数	72,233 人	73,132 人	68,783 人
来 館 者 数	364,155 人	301,421 人	305,595 人

※令和4年度は1月末現在

○利用実績（電子図書）

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
貸 出 冊 数	3,799 冊	11,491 冊	23,005 冊
登録者数	1,612 人	12,249 人	2,975 人
コンテンツ数	10,042 冊	9,662 冊	12,635 冊

※令和4年度は1月末現在

○主な図書館行事（令和4年度実績）

- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催
全国コンクールへ推薦し、2作品が佳作入賞。
- ・図書館まつりの開催
春のこども読書週間、秋の読書週間で、スタンプラリー、おはなし会、ブックリサイクル等のイベントを実施。2月に図書館マルシェを開催。
- ・読書支援サービス
点字図書、録音図書の郵送サービス、電子図書館でのデイジー図書の貸出。図書館講座「ろうあ者と手話&ミニミニ手話教室」やバリアフリー映画の上映会、読書支援サービスに関する展示。
- ・パネル展
「健康づくり応援図書館」「教科書展」他多数

- ・図書館講座
「プログラミング講座」「図書館の便利な使い方」他多数。
- ・坂田道男・道太特別展覧会
令和5年1月13日（金）～2月12日（日）
宮嶋利治学術財団所蔵より借用
坂田文庫20万円分購入及び展示
- ・図書館マルシェの開催
令和5年2月26日（日）9時30分～15時
飲食に関するニーズの把握

○電子書籍及びICタグの導入

- ・電子書籍 2203コンテンツの追加（主に児童書）
9,000千円
- ・ICタグ導入 約10万冊ICチップ貼付作業、ICゲート設置等
23,332千円

（８）図書館施設整備事業

〔目 的〕

図書館を生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、安全で快適に利用できるよう老朽化した施設及び設備の改修を計画的に行う。

〔令和4年度実施分〕

- ・図書館本館エアハンドリングユニット更新工事 令和4年12月12日

（９）生涯学習推進事業

市民一人一人が生涯にわたって生きがいをもち、心豊かな生活を送れるよう、時代の変化や市民のニーズに沿った多様な学習機会や学習情報を提供する。

① やつしろ市民大学

〔目 的〕

市民の多様化、高度化する学習ニーズに応じた学習機会を提供することで、市民がより豊かで、生きがいのある生活を送れるよう支援するとともに、学習の成果を適切に活かすことのできる生涯学習社会実現のため実施する。

〔令和4年度実績〕20講座122回 のべ参加者（見込）：1,750人

講座名	開催日	回数	参加人数	開催場所
公開講座「人生100年時代に向けた学びの必要性」	5月25日	1	102	八代市公民館
ためになる防災講座	6月14日～10月11日	5	12	八代市公民館
かんたんスマホ講座	6月2日～10月20日	10	25	八代市公民館
プログラミングでゲームをつくろう	6月4日～9月17日	8	11	八代市公民館
ITキャリアアップ講座	6月7日～10月18日	10	20	八代市公民館
からだいきいき健康講座	6月9日～10月27日	9	19	八代市公民館
ものづくり講座	6月9日～2月9日	9	16	八代市公民館 お祭りでんでん館
こころを癒すヨガ	6月1日～10月5日	9	14	八代市公民館
実用書道講座	6月8日～10月26日	9	17	八代市公民館
はじめての絵だより	11月1日～12月6日	4	12	代陽コミセン
ITキャリアアップ講座	11月1日～2月21日	8	22	八代市公民館
こころを癒すヨガ	11月2日～2月15日	6	13	八代市公民館
人生100年時代の金融リテラシー講座（シニア編）	11月4,18日 12月2日	3	14	八代市公民館
サブ4までのフルマラソン講座	11月5日～1月21日	6	14	県南運動公園他
アロマセラピー講座～おうちリラクゼーション～	11月6日～3月5日	5	10	八代市公民館
はじめてのクラフトバッグづくり	11月8日～2月28日	8	4	八代市公民館
フラワーアレンジメント講座	11月9日～3月8日	4	12	八代市公民館
人生100年時代の金融リテラシー講座（20代～40代編）	11月11,25日	2	13	八代市公民館
八代の歴史講座～郷土の歴史、再発見！～	11月24日～2月24日	5	28	八代市公民館 お祭りでんでん館
公開講座「人生100年時代の金融リテラシー」	1月26日	1	32	八代市公民館

② おでかけ公民館講座・公民館講座

〔目 的〕

地域の学習機会の充実や学習活動の活性化、相互の交流を図り、市民が心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

〔令和4年度実績〕 8講座 14回 のべ参加者（見込）：170人

講座名	開催日	回数	参加人数	開催場所
親子パンづくり講座	7月10日	1	19	松高コミセン
これからのためのキャッシュレス講座	7月15日	1	11	八代市公民館
あんしん！終活講座	9月14, 21日	2	15	八代市公民館
フラワーアレンジメント講座	10月12日	1	10	泉コミセン
はじめてのスマホ講座 in 日奈久	11月10, 17, 24日	3	17	日奈久ゆめ倉庫
親子でつくろう食育講座	1月28日	1	20	千丁コミセン
はじめてのスマホ講座 in 坂本	2月2, 9, 16日	3	10	坂本コミセン
はじめませんか。ノルディックウォーキング	3月8, 22日	2	未定	県南運動公園

集計（①＋②）

年度	講座数	回数	のべ参加者
令和3年度	22	38	498
令和4年度	28	136	1,920

③ 公民館講座WEB版・かわら版

〔目 的〕

新しい生活様式に対応するため、学習講座をオンライン配信する等、市民が「いつでも、どこでも」学ぶことができ、心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

〔令和4年度実績〕

5月：令和3年度活動報告（（おでかけ）公民館講座、かわら版、Web版）

8月：お菓子づくり講座

9月：キャッシュレスと消費者問題

1月：おやこ食育講座

④ 家庭教育学級

〔目 的〕

小・中学校や幼稚園、保育園ごとに家庭教育学級を開設し、学習支援を行うことで家庭の教育力向上を図る。

〔令和４年度研修会等開催実績〕

・令和４年度家庭教育学級運営委員研修会

日時：令和４年５月２６日（金）

場所：八代市公民館

参加者数：２９人

内容：①運営に関する説明

②親の学びプログラム「コミュニケーション・スキルアップ（聞くと聴くの違い）」

講師：岡田 富子 氏（八代市社会教育指導員）

③講話「子育てのヒント～家庭で大切にしたいこと～」

講師：木本 芳照 氏（八代市社会教育指導員）

・家庭教育学級通信 １２月発行

〔令和４年度開設状況〕

家庭教育学級：６１学級（令和４年度新規開設：２学級）

校区	学級名	未開設
代陽	代陽小学校（北の丸）	1 園 1 校
	代陽幼稚園	
	聖愛幼稚園	
	つるまる保育園	
八代	八代小学校（白い鳥）	3 園
太田郷	太田郷小学校（若葉）	6 園 1 校
	太田郷幼稚園（おおぞら）	
	太田郷ひびき保育園	
植柳	植柳小学校	1 園
	植柳幼稚園	
麦島	麦島小学校	3 園
	麦島幼稚園	1 校
松高	松高小学校（松の芽）	2 園
	八代支援学校	
	松高幼稚園	
	杉の実保育園	
八千把	第四中学校	1 園
	八千把小学校	
	八千把こども園	
	わらび保育園	
	わかみや保育園	
高田	高田東部保育園	1 園
	高田あけぼの保育園	2 校
金剛	第六中学校	-
	金剛小学校	
	ひので保育園	
	金剛みどり保育園	
	揚町保育園	
郡築	郡築小学校	1 園
	郡築しおかぜ保育園	1 校
	白島ぎんが保育園	

校区	学級名	未開設
宮地	第八中学校	1 園
	宮地小学校(妙見)	
	宮地さくら保育園	
日奈久	日奈久中学校	-
	日奈久小学校(山鳩)	
	天真保育園	
	みずほ保育園	
昭和	昭和小学校	-
	昭和保育園	
二見	二見中央保育園	2 校
	光嶺保育園	
龍峯	龍峯小学校	-
千丁	千丁幼稚園	2 園
	千丁みどり保育園	2 校
鏡	鏡小学校	4 園 1 校
	有佐小学校	
	文政小学校	
	有佐保育園	
	鏡しらぬい保育園	
	鏡保育園	
	鏡第二保育園	
坂本	八竜小学校	2 園 1 校
	真愛保育園	
	川岳保育園	
東陽	太陽保育園	2 校
	河保保育園	
泉	泉中学校	-
	泉小学校	
	泉第八小学校	
	下岳保育園	

(10) 生涯学習推進大会「第13回まなびフェスタ やつしろ」

〔趣 旨〕

様々な学びの場や活動を紹介し、学習成果発表の機会を設けることで、市民に生涯学習の普及啓発を図り、学習活動への参加を促進する。

〔令和4年度実績〕

【開催日】 令和4年12月10日（土）

【会 場】 八代市公民館、八代市立図書館せんちょう分館

【内 容】 I. ホール部門 総合司会：八代白百合学園高等学校放送部

(1) オープニング バイラル（生涯学習自主講座クラブ）

(2) 講演会

講師：河合 敦 氏

目からウロコの日本史～あなたの学んだ歴史は大きく変わっている～

(3) 生涯学習自主講座クラブ活動発表 ※5クラブ

II. 体験活動部門

(1) 市内高校による体験活動

八代工業高等学校・八代農業高等学校泉分校・

熊本高等専門学校八代キャンパス

(2) 八竜天文台イベント（プラネタリウム体験）

III. 展示部門

(1) 生涯学習課事業活動紹介（公民館講座等）

(2) 生涯学習自主講座クラブ作品展示 ※7クラブ

(3) 家庭教育学級活動報告及び動画上映

(4) 放課後子ども教室作品展示

(5) 人権啓発作品展示

(6) 地域学校協働活動紹介

(7) やつしろ市民大学講座作品展示

(8) 八代市社会教育団体活動報告及び作品展示

八代地域婦人会連絡協議会・八代市子ども会連合会

八代市PTA連絡協議会

IV. その他

(1) 食バザー「まなびマルシェ」 ※7団体

(2) 図書館お話会

(11) 公民館等施設整備事業

① 公民館施設整備事業

市民がいつでも学びたいときに学習ができる公民館を整備するため、限られた予算の中で優先度が高いものより整備改修を行った。

〔令和４年度の主な実績〕

- ・八代市公民館吊天井改修実施設計業務委託 1,903 千円
- ・八代市公民館ワイヤレスシステム更新工事 1,298 千円

〔令和４年度 八代市公民館ホール利用状況〕（単位：件・人）

ホール		舞台		ホワイエ		リハーサル室		楽屋等	
件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数
38	4,379	24	1,823	19	1,625	130	2,035	19	486

〔令和４年度 八代市公民館会議室等利用状況〕（単位：件・人）

会議室（Ａ・Ｂ）		研修室		生涯学習室		和室（Ａ・Ｂ）	
件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数	件数	人 数
127	4,032	133	2,377	18	176	36	741

② 自治公民館整備費補助事業

自治公民館の施設設備の整備・充実に要する経費に対し、八代市社会教育施設（自治公民館）整備費補助金交付要綱により補助金を交付した。

〔補助基準〕

ア 新築、増築または全面改築の場合（延床面積が 50 ㎡以上のものであること。）は総事業費の 50％

ただし、延床面積が 50～150 ㎡の場合は上限 200 万円、延床面積が 150 ㎡を超える場合は上限 300 万円

イ 修繕等の場合（総事業費が 20 万円以上のものであること。）は、総事業費の 50％（限度額：50 万円）

ウ この補助金を受けた事業者は、翌年度から起算して 3 年間はこの補助金の交付を受けることができない。

〔令和４年度実績〕

新築 0 件

修繕等 16 件 補助金額 5,962 千円

※自治総合センターコミュニティ助成金

令和４年度実績 1 件（井上町内会） 補助金額 15,000 千円

（１２）自治公民館再建支援事業

令和２年 7 月豪雨により被災した自治公民館等の復旧に要する経費の一部を補助し、被災からの早期復旧・復興を支援する。（補助率：3/4）

〔補助予定自治会〕

改築、修繕等 1 件（西鎌瀬公民館） 補助金額：2,475 千円

(12) その他社会教育関連事業

① 第52回九州ブロック社会教育研究大会

- ・参加者 前田主事
- ・期 日 令和4年10月6日(木)～7日(金)
- ・会 場 J:COM ホルトホール大分(大分市)
- ・テーマ 「協育」で人と人との絆を紡ぐまちづくり
～地域の持続的発展のために社会教育が目指すもの～

② 第67回熊本県公民館研究大会・令和4年度熊本県社会教育研究大会

- ・参加者 今田委員、田島主査、前田主事
※岩本委員は紙面での参加
- ・期 日 令和4年10月14日(金)
- ・会 場 嘉島町民会館 ホール 「アクア」
- ・テーマ 今こそチャンス！
「つどい」「まなび」「むすぶ」で新しい未来へ

③ 第64回全国社会教育研究大会

- ・参加者 不参加
- ・期 日 令和4年10月26日(水)～28日(金)
- ・会 場 広島 YMCA 国際文化センター(広島市) 他
- ・テーマ 多様性を生み出し“百万一心”の心根で未来を作る社会教育！！

2. 令和5年度 事業計画について

(1) 人権教育事業

人権問題の正しい理解と認識を深めるため、地域と連携した取組や様々な学習機会の提供を行う。また、人権政策課や八代市人権問題啓発推進協議会をはじめとする関係機関・団体等の取組に参加し、人権同和問題の啓発推進に努める。

① 人権のまちづくり事業

郡築校区、泉校区、宮地・宮地東校区を推進校区に予定し、地域イベントでの啓発及び協議会だよりへの記事掲載や啓発ポスターの掲示など、地域と一体となった取り組みを行う。

② 様々な学習機会の提供

人権問題の正しい理解と認識を深めるため、家庭教育学級や公民館講座などを積極的に活用するとともに、講演会や社会教育指導員によるミニ講座を開催し学習機会の確保を行う。

〔実施予定講演会等〕

- ・令和5年度八代市社会教育団体等人権教育研修会（令和5年12月予定）

③ 連携事業

- ・八代地区人権同和教育夏期現地研修会 令和5年7～8月
- ・第47回八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会 令和5年7月
- ・人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ 令和5年12月
- ・八代人権同和教育推進協議会「総括学習会」 令和6年2月

④ 西宮上日置集会所空調機等改修工事

- ・実施予定額：6,100千円

(2) 地域学校協働活動事業

地域学校協働本部を中心に、市内全ての小・中・特別支援学校（39校）において活動を実施する。地域コーディネーターを委嘱するとともに、統括コーディネーター（市社会教育指導員）による学校訪問等による支援を引き続き行う。

併せて、「地域未来塾」や「放課後子ども教室」についても地域の実情に合わせ継続して実施する。

令和2年度以降、地域学校協働本部の強化事業として位置付けている不登校・別室登校児童生徒に対する支援については、令和5年度も継続して強化事業として位置づけ、対応を強化していく。

(3) 二十歳の集い

令和4年4月1日に成年年齢が引き下げられたが、八代市ではこれまで通り20歳を対象にし、名称を二十歳の集いに変更し、実施している。

年度中に20歳となる実行委員で組織された実行委員会にイベント等の企画

運営を委託し実施する。

- ・対象者 平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの男女（外国人含）
1,007人（令和4年11月現在）
- ・開催日 令和6年1月7日（日）午後2時開式
- ・会場 八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）

（４）社会教育関係団体育成事業

社会教育団体の健全育成、活性化を促進し、生涯学習社会の構築を推進するため、社会教育関係団体の活動に対して助成等を行う。

〔助成実施予定団体〕

- ・八代市地域婦人会連絡協議会
- ・八代市子ども会連合会
- ・八代市PTA連絡協議会

（５）青少年体験活動事業

家庭や学校では、体験できない野外活動等を取り入れた青少年体験活動事業を実施し、次代を担う青少年の健全育成を図る。

〔実施予定事業〕

- ・キッズチャレンジ2023
アウトドアスクール、陶芸教室、宿泊体験活動、親子体験活動 計4事業

（６）社会教育施設整備事業

市民に学習・研修・スポーツ・趣味を楽しむ機会を提供する生涯学習のための施設として整備する。

〔実施予定工事〕

なし

（７）図書館管理運営事業

図書館運営方針の着実な履行と指定管理者による適切な管理運営が行なわれるよう指導・助言、進捗調整を行い、市民に親しまれる図書館運営の実現を目指す。

- ・総合窓口開設（コンシェルジュの設置）
- ・ICタグ運用スタート
- ・八代市立図書館運営方針の策定作業
- ・八代市子ども読書活動推進計画（第三次）策定作業

（８）生涯学習推進事業

時代の変化や市民のニーズに沿った多様な学習機会や学習情報を提供する。

特に時代の変化に応じたスキルが学べるリカレント教育や誰一人取り残さないデジタル社会実現に向けた学習活動等に取り組む。

① やつしろ市民大学

○前期

IT キャリアアップ講座、かんたんスマホ講座、こころを癒すヨガ、楽しい筆ペン講座、ボクササイズ入門、マネー＆ライフプラン講座、バレチェア健康体操講座、小学生向けプログラミング教室 計 8 講座予定

○後期開催予定

IT キャリアアップ講座、かんたんスマホ講座、マラソン講座、金融リテラシー講座等 計 8 講座予定

②おでかけ公民館講座・公民館講座

はじめてのスマホ講座（泉・金剛・麦島）、食育講座、人権講座、終活講座、防災講座、フラワーアレンジメント講座等 計 16 講座

③公民館講座WEB版

家庭教育講座、食育講座、人権教育講座等 計 5 本配信予定

④家庭教育学級

家庭教育学級研修会 計 2 回開催予定 家庭教育通信 計 1 号発行予定

（９）生涯学習推進大会「第 14 回まなびフェスタ やつしろ」

世代間交流や地域間交流を活性化し、より良い人づくり、まちづくりに繋げることを目的して、八代市における様々な学びの場や活動を紹介し、学習成果の発表の機会を設ける。

- ・開 催 日 令和 5 年 12 月 9 日（土）
- ・会 場 八代市公民館及び周辺施設
- ・参加団体 社会教育団体、生涯学習自主講座クラブ、市内各高校など
- ・内 容
 - I. ホール部門（講演会、学習クラブ活動発表など）
 - II. 体験活動部門（市内高校生や八竜天文台による体験コーナーなど）
 - III. 展示部門（講座の活動紹介、学習クラブ成果発表など）
 - IV. その他（食バザー、図書館イベント）

（10）公民館等施設整備事業

八代市公民館に対する市民のニーズは大きく変化し、多様化していることから、市民がいつでも安全で安心して学び、交流することができる施設として計画的な整備改修を進める。

〔実施予定工事〕

- ・ 公民館吊天井改修工事

ホール休館期間 令和5年8月1日～令和5年11月30日

（１１）自治公民館施設整備費補助事業

町内住民の地域づくり等の集会その他の社会教育活動を行うための自治公民館の整備に要する経費の一部を補助する。

〔補助予定自治会〕

修繕等 25件（西片町第二公民館 破風板の取替、塗装等ほか24件）

補助金額：9,396千円

※自治総合センターコミュニティ助成金活用

新築申請 1件 修繕等申請 0件

申請額：15,000千円

（１２）自治公民館再建支援事業

令和2年7月豪雨により被災した自治公民館等の復旧に要する経費の一部を補助し、被災からの早期復旧・復興を支援する。（補助率：3/4）

〔補助予定自治会〕

改築、修繕等 0件 補助金額：0千円

（１３）みんなの家事業

令和2年7月豪雨で被災した公民館に替わる「みんなの家」は、地区住民等の意見を反映して建設し、被災地区の創造的復興に向けた地域づくりの拠点として活用できるように、日本財団が整備に要する経費を補助する。

なお、完成後は一旦本市が受入先となり、管理を地区自治会とし、今後は地区自治会に引き渡すよう準備を進めていく。市での予算化はなし。

〔みんなの家建設〕※年月は予定

事業主体：一般財団法人熊本県建築住宅センター

協働事業者・資金助成：日本財団

- ① 中津道地区みんなの家（整備面積 60 m²）

着工：令和5年2月

竣工：令和5年5月末（竣工を災害公営住宅と合わせる工程）

- ② 藤本・大門地区みんなの家（整備面積 100 m²）

着工：令和5年4月

竣工：令和5年8月末（竣工を災害公営住宅と合わせる工程）

(14) その他社会教育関連事業等

① 令和5年度熊本県社会教育研究大会・第68回熊本県公民館研究大会

- ・期 日 令和5年9月29日（金）
- ・会 場 桜十字ホールやつしろ
- ・テーマ 人づくり、地域づくりから学び、広げ、未来へつなぐ

② 第65回全国社会教育研究大会兼第52回九州ブロック社会教育研究大会

- ・期 日 令和5年11月8日（水）～10日（金）
- ・会 場 宮崎市民文化ホール
- ・テーマ つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！
～日本のひなた宮崎からはじまる明日の社会教育～

地域学校協働活動アンケート調査 小・中・特別支援学校

このアンケートは、学校と地域の協働体制を構築し、組織的かつ継続的な取り組みとするため、毎年度、効果検証を行い、翌年度以降の活動に反映させることを目的実施しました。調査結果は、今後の八代市地域学校協働本部の基礎資料として活用していきます。

※調査期間 令和5年1月17日～1月27日

回答数	39校
-----	-----

【問 1】 地域学校協働本部では、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）をすべての学校に配置し2年目となりました。配置をしてよかったですか？

項目	回答数	割合	
そう思う	37	94.9%	37
ややそう思う	2	5.1%	2
あまり思わない	0	0.0%	0
全く思わない	0	0.0%	0
合計	39	100.0%	

すべての学校が、地域コーディネーターを配置してよかったと感じていることがわかりました。

【問 2】 教職員は地域コーディネーターを活用していると思いますか？

項目	回答数	割合	
よく活用している	9	23.1%	9
活用している	24	61.5%	24
あまり活用していない	6	15.4%	6
全く活用していない	0	0.0%	0
合計	39	100.0%	

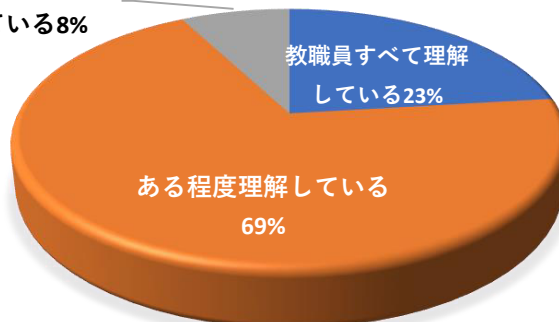
大方、地域コーディネーターを活用している学校が多いものの、コロナ禍でもあるため、活用方法等において6校は慎重な対応をしていることが見えてきました。

【問 3】 地域学校協働活動の概要や取り組みについて、教職員は理解していますか？

項目	回答数	割合
教職員すべて理解している	9	23.1%
ある程度理解している	27	69.2%
特定の教職員のみ理解している	3	7.7%
あまり理解していない	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	39	100.0%

殆どの学校において、地域学校協働活動の概要や取り組みを理解して実施しているということがわかりました。

特定の教職員のみ理解している8%

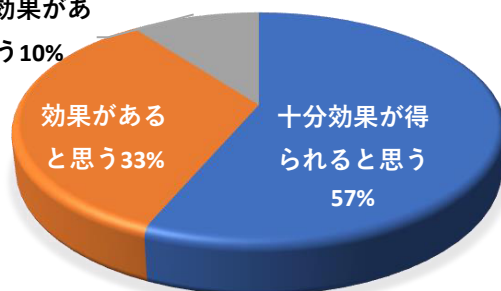


【問 4】 地域学校協働活動は、学校教育目標の達成や教育課題の解決につながると考えますか？

項目	回答数	割合
十分効果が得られると思う	22	56.4%
効果があると思う	13	33.3%
ある程度効果があると思う	4	10.3%
効果は得られないと思う	0	0.0%
合計	39	100.0%

殆どの学校において、地域学校協働活動は、学校教育目標の達成や教育課題の解決につながり、効果が得られると思っているということがわかりました。

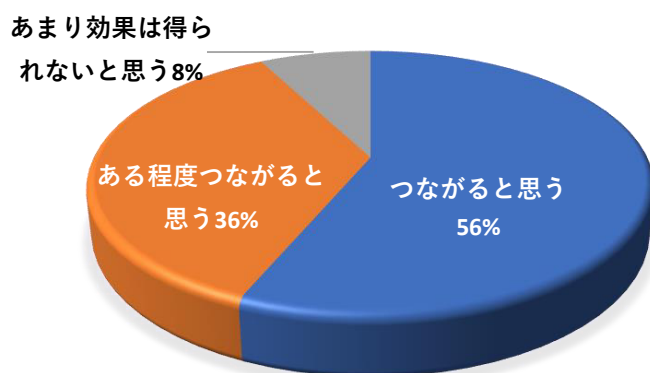
ある程度効果があると思う10%



【問 5】 地域学校協働活動を推進していくことで、学校における働き方改革につながると思いますか？

項目	回答数	割合
つながると思う	22	56.4%
ある程度つながると思う	14	35.9%
あまり効果は得られないと思う	3	7.7%
合計	39	100.0%

殆どの学校において、地域学校協働活動を推進していくことで、学校における働き方改革につながっているということがわかりました。



【問 6】 貴校のコミュニティスクール(学校運営協議会)では、地域学校協働活動について議論を行っていますか？

項目	回答数	割合
よく議論している	12	30.8%
議論したことがある	20	51.3%
あまり議論にならない	6	15.4%
その他	1	2.6%
合計	39	100.0%

その他

今年度、学校運営協議会の開催があまりできず、地域学校協働活動に係る議論もできていません。

8割程度の学校では、コミュニティスクールの中で地域学校協働活動について議論していることがわかりました。残りの2割程度の学校において、地域学校協働活動について議論を深めてもらえるよう働きかけが必要となります。

【問 7】 地域学校協働活動を実施する上で、捉えている課題は何ですか？
（複数回答可）

項目	回答数	割合
学校・教職員の理解が不十分	5	5.5%
教職員が行う余裕がない	16	17.6%
受け入れ態勢が不十分	5	5.5%
打ち合わせ場所や活動場所など施設面が不十分	15	16.5%
ボランティアに期待する活動の内容が不明確	6	6.6%
学校への支援の意識が強く連携・協働に至っていない	7	7.7%
コミュニティスクールとの連携が発揮できない	6	6.6%
PTAや保護者の協力が十分ではない	4	4.4%
参考事例となる情報やノウハウがない	6	6.6%
地域社会の理解が十分ではない	5	5.5%
ボランティア人材が不足している	9	9.9%
その他	7	7.7%
	91	100.0%

その他
仕事の時間等で電話連絡がつきにくい
コロナ禍の中で、積極的に人材を活用できない。
事務作業が大量で煩雑である。
教職員側にボランティアを依頼することに、頼んでよいのか？ひけめを感じている。対価支払いが少なすぎまたは出所がないため、頼みにくい。
コロナ禍で思うような活動ができていない。
コロナ禍にあるので活動が行いにくい。5類になり変化があれば、学校から期待する活動はあるので、連携を図っていきたい。
コロナ禍なので、感染状況に合わせた活動計画を作成したり、感染防止対策を講じながらの活動に苦慮している。

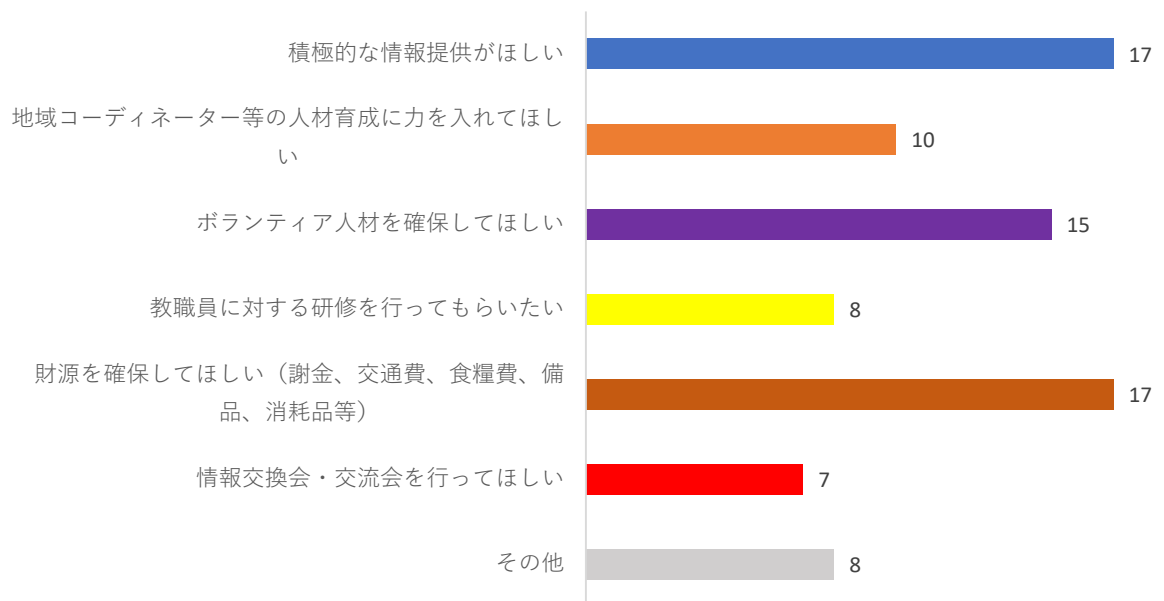


地域学校協働活動を実施する上での課題としては、「教職員が行う余裕がない」が一番多く、次いで、「打ち合わせ場所や活動場所などの施設面が不十分」、「ボランティア人材が不足している」が多いという結果となりました。

【問 8】 八代市地域学校協働本部の支援策についてお聞かせください
(複数回答可)

項目	回答数	割合
積極的な情報提供がほしい	17	20.7%
地域コーディネーター等の人材育成に力を入れてほしい	10	12.2%
ボランティア人材を確保してほしい	15	18.3%
教職員に対する研修を行ってほしい	8	9.8%
財源を確保してほしい(謝金、交通費、食糧費、備品、消耗品等)	17	20.7%
情報交換会・交流会を行ってほしい	7	8.5%
その他	8	9.8%
合計	82	100.0%

その他
地域学校協働活動について広く市民に知っていただくような支援策を講じていただくことで、地域コーディネータの皆さんもそれぞれの地域でコーディネートがしやすくなれるのではないかと思います。
事務作業を行う人員が必要
Q 7でも記載したが、謝金などの金銭面での心配が大きい。打ち切りの減額謝金や謝金なしでは、このご時世ではブラックとして扱われ、頼みにくい。
ボランティアの方にお茶くらいは出したい。規則でできないのは理解できるが何とかならないものか。
協力をお願いするには、どうしても事前の打ち合わせや協力内容の説明等の時間の確保が必要となり、その時間の連絡、打ち合わせ等のスリム化の工夫が必要である
研修会等で多くの情報を本部からいただくことができありがたいです。しかし、学校の方で十分に活かしてないことが次年度への本校の課題です。
学校運営協議会の委員さんたちの地域学校協働活動に関する取組の理解が不十分な点があるため、委員全員も参加対象とした情報交換会を行ってほしい。



八代市地域学校協働本部の支援策は、「財源を確保してほしい」、「積極的な情報提供が欲しい」が一番多く、次に「ボランティア人材を確保してほしい」という結果となりました。

【問 9】 その他、地域学校協働活動についてご意見がございましたら自由に記載ください。

市に登録されていなく、マイナンバーカードを持っていない方への報償費の手続きが大変である。しかも安い。

本校では地域未来塾での活動を中心に行っています。今後は地域での他の活動にも目を向け、あらゆる活用を模索していきたいです。

現在、コーディネーターは他の仕事をされており、その傍ら、コーディネーターとしての業務に尽力していただいている。感謝の限りだが、やはり、連携面で課題もあり、学校の教員で受ける仕事も多く、負担になっている。常勤のコーディネーターが配置されれば、より、地域学校協働活動は推進していけると思います。

本年度、予算を増額していただき大変助かりました。この予算が、次年度以降も続いていくことを希望します。

学校としては、日頃から地域コーディネーターをはじめスクールサポーターの皆様には様々な学校協力活動において大変お世話になっており、感謝の言葉しかありません。

年度途中で予算の追加があったので、活動の充実に向けて大変助かりました。一年間ありがとうございました。

予算を立てる段階では、実際の児童支援をある期間してみないと実態はわからず、例年通りの支援計画ではうまくいかないことが多い。そのため、思わぬところで支援が多く必要であったりして、ボランティアティーチャーなどを複数回お願いせざるを得ないことが非常に多く、謝金の支払いのめどが立たない。よって、あきらめないといけなことが多々ある。途中で変更届は出せるが、事務手続きも時間をとられ、たいへんであった。事務職員が集計して書類をあげなければならない点では、事務職員の負担はかなり増大して申し訳なく思う。

地域未来塾でお世話になっていますが、学習支援員、地域協働サポーターどの方も生徒のためにきめ細かな指導をしていただいています。地域コーディネーターの方とも連携が図りやすく、大変助かっています。

今年度の活動には婦人会の方を中心に関わっていただきました。また、地域コーディネーターの定期来校日を月に1回設定したことで、教職員と地域との距離感が少しずつ縮んできたように感じます。次年度は、学習支援だけではなく、地域の方々や各施設との協働による活動の充実を図っていきたいと考えています。(地域の敬老会を小学校とタイアップして行う、中学生による小学生向けの学習会、花いっぱい運動を学校を含めた地域全体で実施する、汐止め記念に関してまちづくり協議会とタイアップした取組を進める、など)

地域コーディネーターの活用例などを教えていただけたらと思います。

地域学校協働活動アンケート調査 地域コーディネーター

このアンケートは、学校と地域の協働体制を構築し、組織的かつ継続的な取り組みとするため、毎年度、効果検証を行い、翌年度以降の活動に反映させることを目的実施しました。
調査結果は、今後の八代市地域学校協働本部の基礎資料として活用していきます。

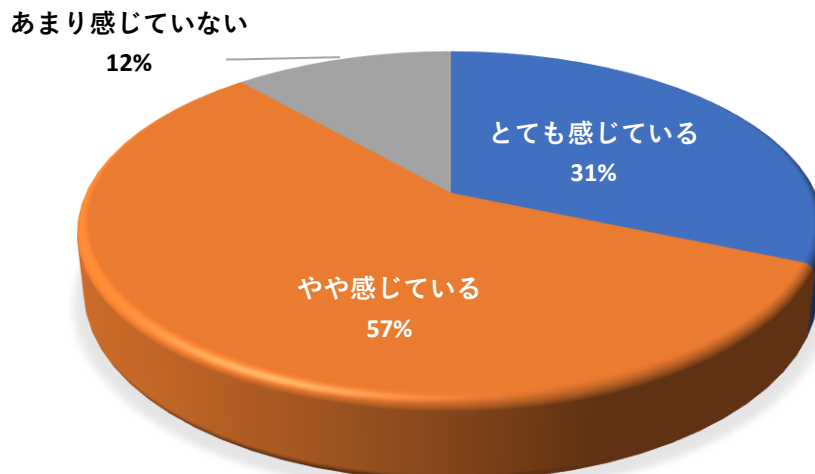
※調査期間 令和5年1月17日～1月27日

回答数	35名
-----	-----

【問 1】 地域コーディネーターの委嘱を受けて、やりがいを感じていますか？

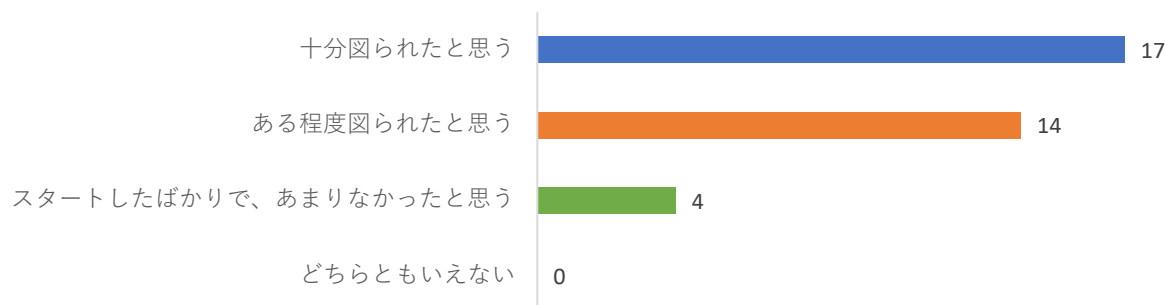
項目	回答数	割合
とても感じている	11	31.43%
やや感じている	20	57.14%
あまり感じていない	4	11.43%
全く感じていない	0	0.00%
合計	35	100.00%

多くの地域コーディネーターが地域学校協働活動に対して、やりがいを感じていることがわかりました。



【問 2】 学校とのコミュニケーションは図られたと思いますか？

項目	回答数	割合
十分図られたと思う	17	48.57%
ある程度図られたと思う	14	40.00%
スタートしたばかりで、あまりなかったと思う	4	11.43%
どちらともいえない	0	0.00%
合計	35	100.00%

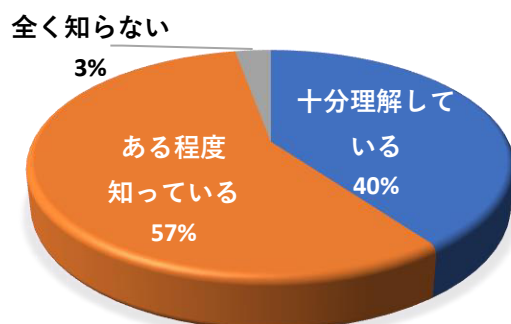


概ねコミュニケーションが図られていますが、コロナ禍でもあり、学校とコミュニケーションが不足しているところが、いくつかあるということがわかりました。

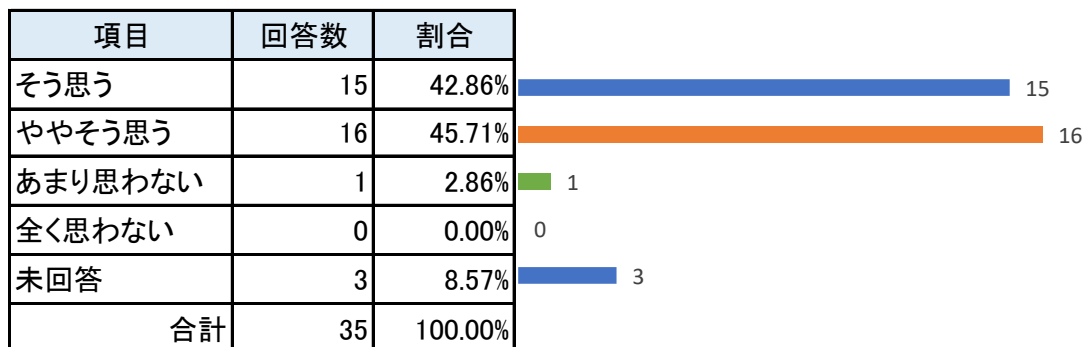
【問 3】 当該学校の教育方針や学校経営目標を把握していますか？

項目	回答数	割合
十分理解している	14	40.00%
ある程度知っている	20	57.14%
全く知らない	1	2.86%
合計	35	100.00%

教育方針や学校経営目標を知らない地域コーディネーターがいることがわかったことから、今後、すべての学校のCS等において、情報を共有していくことが望まれます。

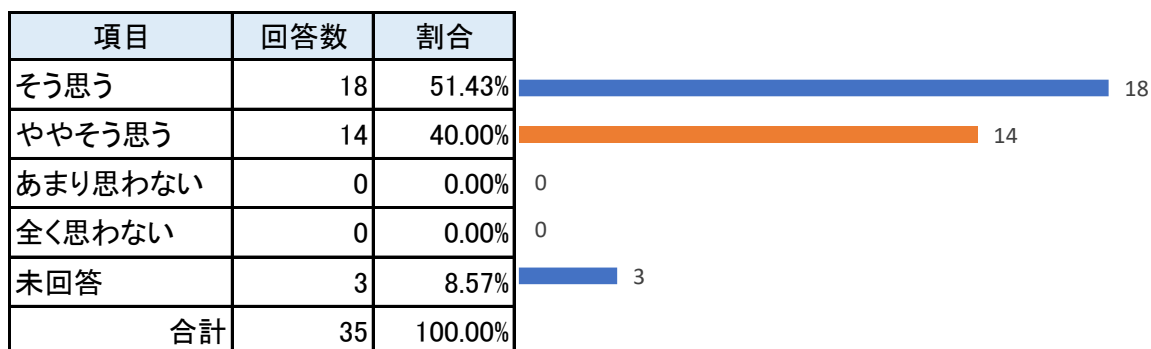


【問 4】 熊本県地域の人づくり講座は役に立ちましたか？



殆どの地域コーディネーターから地域の人づくり講座は役に立ったという意見でした。

【問 5】 連絡調整会議、各種研修等は役に立ちましたか？



【問 6】 連絡調整会議、各種研修等に関する要望はありますか？

研修も連絡調整会として、活動の一環に位置づけていただき、ありがたかった。

学校の活動日や授業参観と被ることが多く全く参加できずに残念でした。来年度は参加したいです！

授業参観と被ることが多く全く参加できずに残念でした。

他の会議等と重なり、なかなか参加できず申し訳ありません。他校区の様子を聞くのは参考になります。

始まり時間を30分早くして頂き、11時位の終了にして頂くと助かりますが。午前中の開催は！

引き続き、各学校の情報交換の場を設けていただけるとありがたい。

【問 7】 地域学校協働活動を実施する上の課題は何があると感じていますか？

連携協働が、地域から学校への一方向だけでなく、学校や子供たちが地域イベント等に参画、貢献していく双方向の協働活動にしていきたい。

地域の方との温度差？というか、学校側はもちろんボランティアでお願いされていて、私もそのつもりですが、地域の方が見返りを求められる。

中学校はあまり必要とされておらず、無理して活動を入れられている感じもあり、予算もあまり使われたくないようなので、居る意味があるのかな？と感じます。

地域の方々の温度差。

小さい学校なので、なかなか地域の方が中に入り込むことなく事業が終わってしまうことが多いように感じます。

地域学校協働活動を地域の人達に知ってもらうため、町協等でお話しをさせてもらったりしているが、なかなか学校へ出向くまでのボランティア、スタッフには至らないのが厳しい現実。いつまで続けられるだろうと、決して1人では出来ない先行きを考える。農家が多い地域で、ボランティアに携わる人＝暇な人、などの考え方があるのも壁。年度が変わる頃に毎年、人材は大丈夫だろうかと思う。

学校の意識改革、地域人材確保。

年度末には、活動上の気付きや課題など、学校側と報告会を開いてはどうかと思います。そうすることで新年度の活動もスムーズスタート出来ると思います。

まだまだ、学校の先生方に知られて無いように感じています。

学校との本活動に関する温度差を感じます。様々な要因がありますが、各校における好事例の積み重ねが大切だと思えます。その前提として、地域の力が必要不可欠ですが、坂本は豪雨災害からの復旧復興の途上で、小中学校の存続問題に直面しておりますので、コーディネーター、主任児童委員としてそちらに注力している現況です。

人材確保がとても難しいです。

先日の人づくり講座で学んだ様に、もう少し地域への広報が足りてなく人材不足の確保が必要だと感じています。

別室登校児童支援に関して、学校の依頼で”児童に寄り添って貰えればと”という事で、学童、児童民生委員経験者に協力を依頼したが、教職OB以外の人では難しい面があると感じた。児童のデリケートな心身状態、学習の遅れなどを考慮すると、教職OBへ協力を呼びかけるべきであったと反省している。今後、このような依頼があった場合には、教職OBの方に協力を呼びかけたい。一方で、教育委員会においては、学校への学習支援員の配置を厚くして、児童のサポートと教職員の負担軽減を図る必要があるのではないかなと思う。

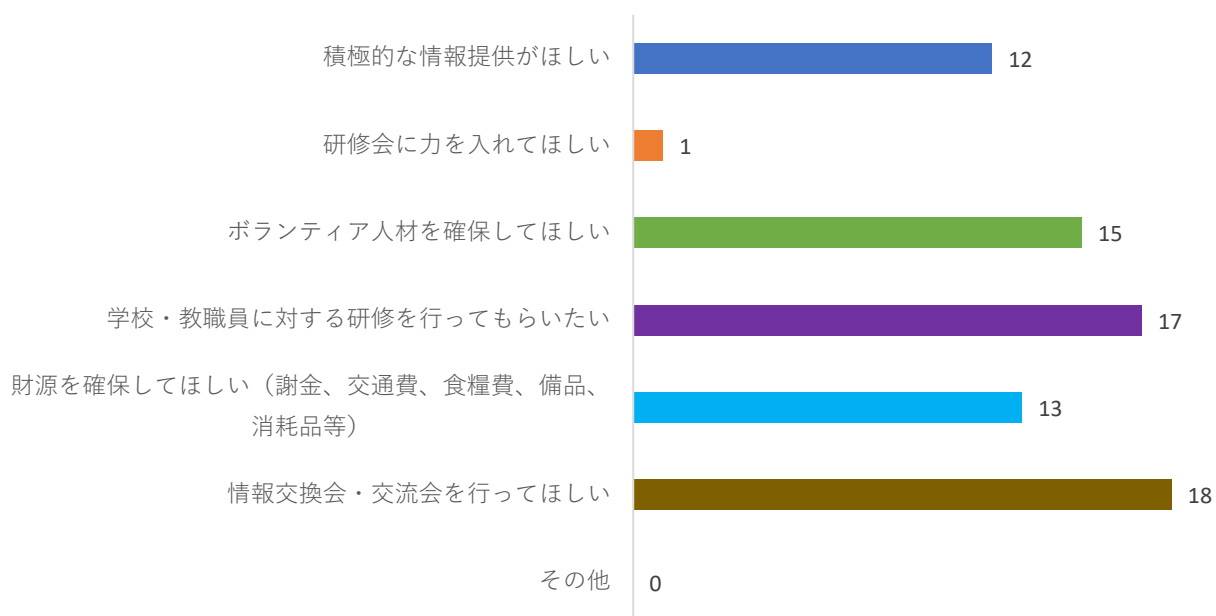
人材確保が課題。

学校の職員の方々の理解。学校へ行きづらい雰囲気がある。

地域のボランティアの人材確保。毎回同じ方をお願いするので、そこから枝葉を広げてもっといろいろな方々に関わって欲しいと思った。

【問 8】 地域学校協働本部の支援策についてお聞かせください。(複数回答可)

項目	回答数	割合
積極的な情報提供がほしい	12	15.79%
研修会に力を入れてほしい	1	1.32%
ボランティア人材を確保してほしい	15	19.74%
学校・教職員に対する研修を行ってほしい	17	22.37%
財源を確保してほしい(謝金、交通費、食糧費、備品、消耗品等)	13	17.11%
情報交換会・交流会を行ってほしい	18	23.68%
その他	0	0.00%
合計	76	100.00%



地域学校協働本部の支援策は、「情報交換会・交流会を行ってほしい」が一番多く、次いで、「学校・教職員に対する研修を行ってほしい」という結果でした。

【問 9】 その他、地域学校協働活動についてご意見がありましたら自由に記載ください。

麦島小学校が想像以上に歓迎してくださったのでこの活動ができて良かったと感じる一年でした。

先生方が誰がコーディネーターなのかも知らず、紹介の機会もなかった為、何をしに来てるのか不思議に思われている雰囲気を感じ取り不快に感じることもありました。コロナで外部を入れたくないのはわかりますが、いざ活動が始まったときにコーディネーターが嫌な思いをしなくて済むよう、紹介の機会がないのであれば、全先生方への周知も必要なのではと思いました。異動で毎年先生方は変わりますので、毎年に対応が必要だと感じます。

いろいろ活発に活動されている所は、可視化されて素晴らしい事だと思います。学校の実状でも変わってくると思いますが、あくまでもサポートだと思うので、細々でも、学校より前にでないサポーターでいいのかなと、思ってやっています。私の立場としては、やはり学校の先生方が頼りです。

コーディネーターとして、地域の人材をまだまだ活かしていかないように思います。反省です。

それぞれの財源の内容、使途を具体的に教えて欲しい。

令和5年度 八代市地域学校協働活動 事業計画（案）

八代市地域学校協働本部

1 目指す姿

八代市に住む私たちが、幼稚園や各学校の縦のつながり、そして学校・家庭・地域という横のつながり、さらには、それ以外の立場の人たちも含め、子どもも大人もみんなが糸をつむいでいくよううまく関係し合い、生涯刺激し合いながら学習できる、ふるさと八代を目指していきます。

また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を中心に幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、「地域の子どもは地域で守り育てる」機運を高めていきます。

さらに、地域と学校がビジョンや課題、情報等を共有し、熟議し、意思を形成する場である学校運営協議会を活用し、地域とともにある学校づくりを目指していきます。

基本コンセプト

目指す姿

地域とともにある学校づくり

実現の手段

地域や学校の実情に沿った地域学校協働活動の推進

学校運営協議会との一体的な推進

取組の柱

高める

地域の人的・物的資源を活用し、教育を学校内に閉じずに、地域の人々に支えられ学ぶことで、地域への愛着・学びへの意識、学力の向上を目指す。



伸ばす

すでに取り組んでいる活動を継続・充実させ、子どもたちとともに大人も学びあい、つながりを深め、実績を積み上げながら推進する。



変わる

学校が保護者や地域住民と教育目標を共有し、学校・家庭・地域の役割分担の中で学校運営を行う体制へ。
教職員も地域の一員としての自覚と責任感を認識していく。



2 「八代市地域学校協働本部」が実現していくもの

（１）「社会に開かれた教育課程」の実現

よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むため、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進を図っていく。

（２）社会全体の教育力の向上及び地域の活性化

地域学校協働本部をベースに学校と地域が組織的に連携・協働する「地域学校協働活動」を確実に推進していくため、八代市教育振興基本計画に地域と学校との連携協力体制を整備することを盛り込み、地域とともにある学校づくりを推進していく。

（３）「学校における働き方改革」の推進

学校及び教職員が担う業務の明確化・適正化のため、基本的に学校以外が担うべき業務としてPTAや地域ボランティア等が行ってきた取組事例を発信していく。

（４）「地域の子どもは地域で守り育てる」機運の醸成

地域社会全体で、未来を担う子どもたちを守り育てていくための、多くの地域住民の参加が得られ、学校が求める支援の内容を踏まえて調整できる「地域コーディネーター」のより一層の人材育成を行っていく。

3 八代市地域学校協働活動事業の方向性

～やつしろの絆でつむぐ地域学校協働活動の推進～

新型コロナウイルス感染防止に努め、学校・家庭・地域、各種団体などが連携し、情報交換や相談体制の整備を進めるとともに、通学路の安全確保や地域における子どもの安全・安心な居場所づくりに努め、地域社会全体で子どもたちを育てる環境をすべての小・中・特別支援学校において整え、以下３つの事業に取り組んでいきます。

（１）様々な学校協力活動

学校・家庭・地域が連携し、相互補完をしつつ、子どもたちの教育を一体的に支援するため、地域コーディネーターを配置し、学校における働き方改革につながるような取り組みを推進します。

また、不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保や地域住民で見守る環境を整えます。

(2) 地域未来塾

経済的な理由や家庭の事情により家庭での学習が困難な児童・生徒への対応策として、教職員OBなどによる学習支援を行い、中学校における学力向上を図ります。

(3) 放課後子ども教室

放課後、帰宅するまでの時間を活用し、子どもたちの学習意欲の向上や遊びを通じた地域社会との交流を図り、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設けます。

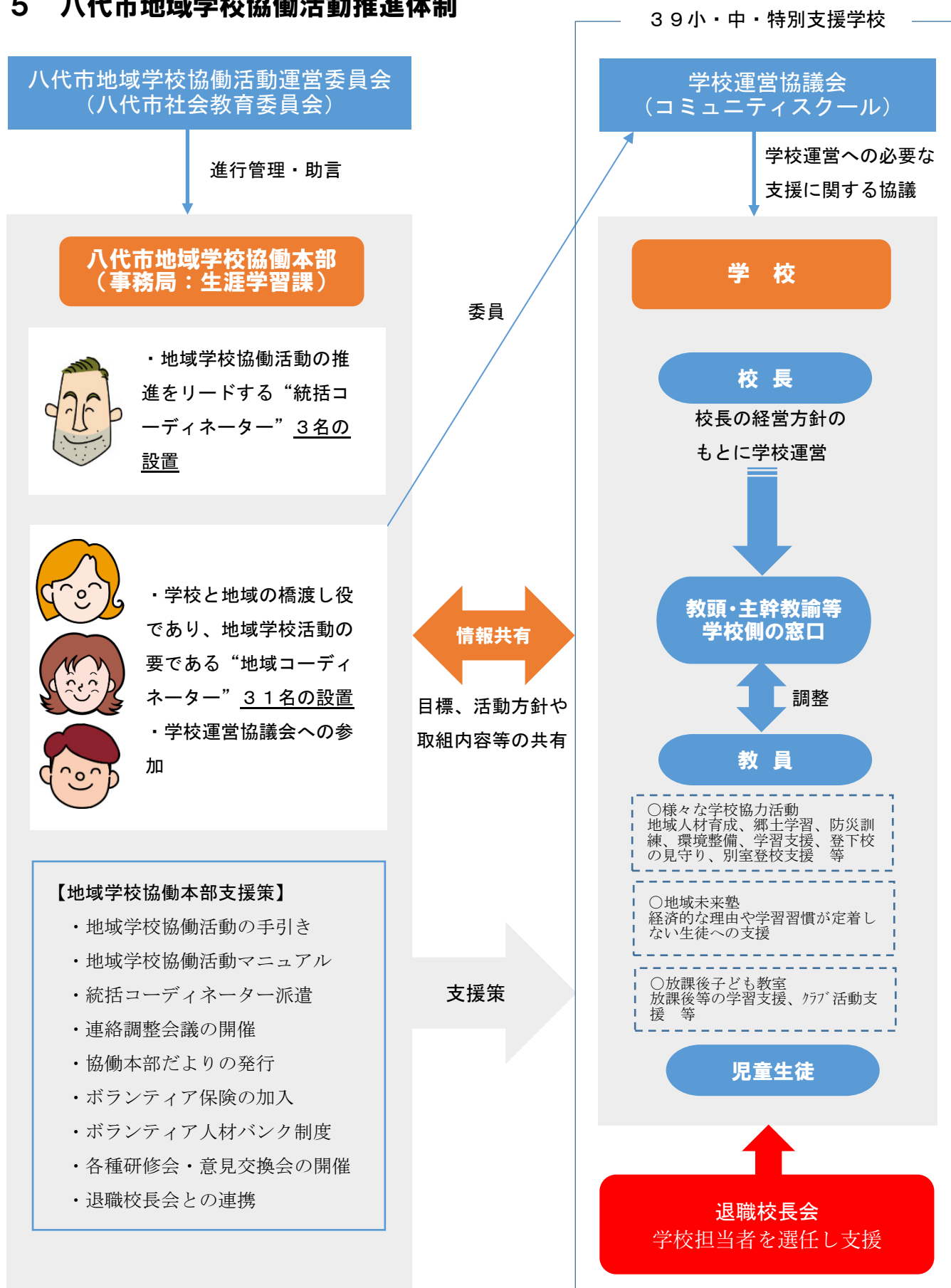
4 学校運営協議会（コミュニティ・スクール・CS）との効果的な連携

地域住民や保護者の意見を反映させる仕組みとして、学校運営協議会と地域学校協働活動の双方が機能することにより、次のような効果が期待できる。

- 学校運営の改善と連動した地域学校協働活動の推進
- 地域と学校の組織的・継続的な連携・協働体制の確立
- 子どもの教育に関する課題や目標等の共有による当事者意識の高まり

八代市地域学校協働本部の役割と支援策を明確にし、本部員である地域コーディネーターと連携強化を図り、併せて、各学校への情報提供を行い、支援策の活用を促していくものとし、学校運営協議会との一体的な推進に寄与していく。

5 八代市地域学校協働活動推進体制



6 令和4年度における課題整理

- ・コロナ禍で、活動が限られ、鈍化している。
- ・コロナ禍で、地域との交流機会が減っており、学校支援だけの一方通行となっている。
- ・コロナ禍で、これまでの地域との交流方法等のやり方を忘れてしまう。(教職員の異動)
- ・地域学校協働活動や学校運営協議会の情報が、教職員間で共有出来ていない。
- ・地域コーディネーターの窓口となっている教頭・主幹教諭等との連携は取れているが、教職員と地域コーディネーターとのコミュニケーションが不足している。
- ・学校間で、知識や取り組みに温度差がある。
- ・不登校児童生徒への対応が難しい状況となっている。

7 令和5年度八代市地域学校協働本部活動内容

地域学校協働活動の推進にあたっては、現在、各学校で取り組んでいる学校支援活動を継続的・安定的に活動ができるように推進していきます。

また、ボランティアに参加する方には、「できる人が、できるときに、できる範囲内」で行うことを基本とし、ボランティア人材の確保に努めます。

協働本部においては、情報提供、各学校の状況に応じた支援を行っていきます。

(1) 様々な学校協力活動（強化事業：不登校対策）

- ・地域と学校が連携して取り組み、学校に関する働き方改革につながる事業の推進を図ります。
- ・地域コーディネーターが学校に行きやすく、連携がしやすい環境を整えます。
- ・統括コーディネーターが適宜学校訪問をするなど、学校との情報共有を行います。
- ・協力活動時、地域コーディネーターは、写真を撮るなど、記録を残すことを心掛けるよう助言します。
- ・SNS等を活用し、それぞれの取り組みを情報発信します。
- ・各学校が取り組んでいる協働活動を取りまとめ、各学校へ情報共有を図ります。
- ・不登校児童生徒へ対応できる人材を確保します。(学校OB、主任児童員等)

(2) 地域未来塾

- ・学習支援員について、学校から配置要請を受けた場合、人材情報の提供を行います。
- ・学校と連携して、学習支援の年間スケジュールを学校と協議できるよう環境を整えます。
- ・学習支援員は地域コーディネーターを兼ねることができるようになります。
- ・地域コーディネーター等の関係者に対して、研修等を受ける環境を整えます。

(3) 放課後子ども教室

- ・子ども教室の年間スケジュールを学校と協議できるように環境を整えます。
- ・子ども教室へ参加する児童募集を支援します。

(4) 人材育成及び教職員の意識改革

- ・地域コーディネーター人材育成研修会を実施します。
- ・年度初めにおける全校朝礼、事務朝礼において地域コーディネーターを紹介するなど認知度を高めていきます。
- ・教職員との意見交換会を実施します。

(5) 広報活動

- ・統括コーディネーターは、広報誌「協働本部だより」を発行し、すべての地域コーディネーターや教職員にデータ送信します。
- ・広報やつしろへ地域学校協働活動を掲載し、市民に広く啓発します。
- ・地域協議会だより、PTAだより等に掲載依頼するなど、様々な啓発方法を模索します。また、地域コーディネーターの広報誌作成ノウハウを高めていきます。
- ・SNS等を活用し、新たな情報発信ツールを構築します。
- ・FMやつしろ、ひこいちテレビへの出演及び取材の協力要請を行っていきます。
- ・地域学校協働活動PRビデオ（ケーブルテレビへの出演）の作成を検討します。

(6) 地域人材の確保

- ・事務局は地域学校協働活動の広報周知を行い、ボランティア人材の確保に努めます。
- ・各種団体、企業等へ直接出向き協力依頼し、人材バンク制度への登録を推進していきます。
- ・各種団体への協力依頼をします。

(7) 連絡調整会議

- ・地域コーディネーター間の情報共有と課題解決に向けた連絡調整会議を行います。
- ・地域学校協働活動等の様々な情報を提供します。
- ・教育委員会における情報提供を行います。

(8) その他

- ・事務処理を簡素化します。

8 令和5年度強化事業

本市の重要な教育課題の一つである不登校問題については、不登校児童生徒数が年々増加傾向にあり、また、その要因も多様化・複雑化しており、対応について学校関係者だけでは厳しい状況にあります。

そのため、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総掛かりで対応していくことが求められます。

また、学力向上を目的とした地域未来塾での対応から、令和5年度より、様々な学校協力活動での支援とし、学力だけでなく、児童生徒の話を傾聴したり、相談に乗るなど、コミュニケーションにも重きを置き、学校に行きやすい、あるいは、学校での居場所づくり等の環境を整えます。

本事業では、不登校問題に対して支援していくことを目的として、以下の対応を強化していきます。

(1) 関係機関との連携

- ・教育委員会内（学校教育課、教育サポートセンター、生涯学習課）での情報共有と連携を強化します。
- ・社会教育団体や退職校長会、主任児童委員等の関係者・関係機関と意見交換会及び情報共有し、連携を図ります。

(2) 様々な学校協力活動を活用した居場所づくり

- ・地域住民（学校OB、民生児童委員等）による別室登校者への支援を推進します。
- ・地域コミュニティ・センター等と連携・協力した学校外の居場所づくりを検討します。

(3) 財源の確保

- ・予算の集約化を行います。
- ・地域未来塾から様々な学校協力活動へ移行します。

9 年間スケジュール

※会議等の回数・時期は予定。

月	運営委員会（社会教育委員会会議）	協働本部	総括コーディネーター	地域コーディネーター
4月		・ボランティア募集		
5月		・第1回協働本部会議	・第1回協働本部会議 ・第1回連絡調整会議	・第1回協働本部会議 ・第1回連絡調整会議
6月			・協働本部だよりの発行	
7月		・学校訪問		
8月	・第1回社会教育委員会	・学校訪問 ・教職員との意見交換会	・教職員との意見交換会	・教職員との意見交換会
9月			・第2回連絡調整会議 ・協働本部だよりの発行	・第2回連絡調整会議
10月		・ボランティア募集		・第1回人材育成研修
11月	・第2回社会教育委員会		・協働本部だよりの発行	
12月			・第3回連絡調整会議	・第3回連絡調整会議
1月		・ボランティア募集		
2月		・第2回協働本部会議	・第2回協働本部会議 ・第4回連絡調整会議 ・協働本部だよりの発行	・第2回協働本部会議 ・第4回連絡調整会議
3月	・第3回社会教育委員会			

令和5年度
八代市地域学校協働活動事業計画

令和5年 4月 1日
事務局：八代市教育部生涯学習課
〒869-4703
八代市千丁町新牟田1433
電話0965-30-1110

5. 令和5年度熊本県社会教育研究大会・公民館大会について

令和5年度熊本県社会教育研究大会・第68回熊本県公民館大会合同大会
in やつしろ

開催要項（案）

《趣旨》

現在、急速に進行する人口減少や少子高齢化、人生100年時代やSociety5.0の到来、グローバル化の進展など、社会情勢が大きく変化する中、SDGsの理念に沿った持続可能な社会の実現が求められています。

このような中、人と人がつながりあい、生涯にわたって生きがいをもち、心豊かな生活を送り、未来へとつないでいく、「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現していくためには、社会教育を基盤とした「人づくり」「地域づくり」「つながりづくり」がとても重要であると考えます。

本大会は、生涯学習を通じた人づくりやふるさとを愛する地域づくりに向けた社会教育と公民館活動について学び、学んだ成果を各地域に広げ、そして未来へとつなげていくため開催します。

《大会テーマ》

人づくり、地域づくりから学び、広げ、未来へつなぐ

1 主催

熊本県社会教育委員連絡協議会
熊本県公民館連合会
八代地区大会実行委員会

2 共催

八代市教育委員会 氷川町教育委員会

3 後援（予定）

熊本県、熊本県教育委員会、熊本県市長会、熊本県町村会、熊本県地域婦人会連絡協議会、熊本県子ども会連合会、熊本県PTA連合会、熊本の心推進協議会、熊本日日新聞社、熊本放送、NHK熊本放送局、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、エフエム熊本、FM791（順不同・敬称略）

4 期日

令和5年9月29日（金）

5 会場

桜十字ホールやつしろ （八代市新町5-20 電話：0965-53-0033）

6 参加対象

公民館関係者、社会教育委員関係者（県、市町村）、市町村社会教育・生涯学習担当者、社会教育関係団体関係者、学校教育関係者、教育事務所職員、NPO 団体関係者、その他社会教育・生涯学習・公民館活動に関心のある方

7 日程及び内容

受付 9：30～10：00

総合司会：〇〇 〇〇

日 程	時 間	内 容
開会行事	10：00	開会の言葉 熊本県公民館連合会会長 主催者挨拶 熊本県社会教育委員連絡協議会会長 八代地区大会実行委員会委員長 来賓祝辞 熊本県教育長 八代市長 来賓紹介 表彰 熊本県社会教育委員連絡協議会表彰 熊本県公民館連合会表彰
講演	10：40	演題 「人生 100 年時代に向けた学びの必要性について」 講師 中村 まこと 氏（株式会社 SUNABACO 代表）
昼食休憩	12：00	
アトラクション	13：00	おざやぶし 「大鞆節（仮）」 (八代新地大鞆節保存会)
事例研究	13：20	事例 1 「東陽町の人づくり、地域づくりについて」 報告：橋永 高德 氏
	14：05	事例 2 「ふるさとの大地に輝く氷川っ子のために」 ～つながりを大切に～ 報告：古閑 由美 氏、稲本 眞理 氏
閉会行事	14：50	閉会の言葉 八代地区大会実行委員会副委員長

8 大会参加申込及び参加費の振込について

各市町村教育委員会等で参加者を取りまとめの上、別紙「参加申込書」により下記事務局へ〇月〇日（〇）までに電子メール又はFAXでお申し込みください。

なお、大会参加費は下記口座へ〇月〇日（〇）までにお振込みください。

また、参加費振込後のキャンセルはできませんので、大会受付時に欠席者の資料をお受取りください。

【参加費】一人当たり 1, 200円（※予定）

【申込先】八代地区大会実行委員会 事務局（〇〇市教育委員会 生涯学習課）

メール syogai@city.yatsushiro.lg.jp（官公庁用）

電話 0965-30-1110

FAX 0965-30-1120

【参加費振込先】

金融機関名 〇〇銀行 〇〇支店

口座種別 普通

口座番号 1 2 3 4 5 6 7

口座名義 県社連・県公連合同大会 八代地区大会実行委員会 事務局長 〇〇 〇〇
(ケンジャレン ケンコウレンゴウドウ ヲカイ ヤツシロチクタイカイジ ッコウインカイ ジムキョク 〇〇)

9 弁当申込及び弁当代の振込について

弁当を注文される方は、各市町村教育委員会等で参加者を取りまとめの上、別紙「弁当注文書」により下記事務局へ〇月〇日（〇）までに電子メール又はFAXでご注文ください。

なお、弁当代金は下記口座へ〇月〇日（〇）までにお振り込みください。

また、弁当代振込後のキャンセルはできませんのでご了承ください。

【金額】お茶付き1個 800円（※予定）

【申込先】八代地区大会実行委員会 事務局（〇〇市教育委員会 生涯学習課）

メール syogai@city.yatsushiro.lg.jp（官公庁用）

電話 0965-30-1110

FAX 0965-30-1120

【弁当代振込先】

金融機関名 〇〇銀行 〇〇支店

口座種別 普通

口座番号 7 6 5 4 3 2 1

口座名義 県社連・県公連合同大会 八代地区大会実行委員会 事務局 〇〇 〇〇
(ケンジャレン ケンコウレンゴウドウ ヲカイ ヤツシロチクタイカイジ ッコウインカイ ジムキョク 〇〇)

10 その他

- (1) 駐車場が混雑する場合がありますので、早目のご来場と出来る限り乗り合わせでお越しください。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開催方法、内容等を変更する場合があります。変更する場合は、電子メール、電話等でお知らせします。

八代地区大会実行委員会役員等名簿(案)

【実行委員会】

所 属	氏 名	備 考
八代市		社会教育委員代表
		公民館長・生涯学習課長
		公民館運営審議会代表
氷川町		社会教育委員代表
		公民館長
		生涯学習課長

※委員長1、副委員長1、監事2

【企画委員会】

所 属	氏 名	備 考
熊本県		熊本県社会教育課 県社連担当
		八代教育事務所 社会教育主事
八代市		公民館担当
		社会教育委員担当
氷川町		公民館担当
		社会教育委員担当

【事務局】

役 職 名	氏 名	備 考
事務局長		委員長が任命する
会計		
事務局員		
事務局員		